会議等議事要旨記録票

令和3年7月1日(木曜日)午	=前9時00分	から午前10時00分まで
	令和3年7月1日(木曜日)午前9時00分から午前10時00分まで	
3 0 S 会議室 (W e b 会議)		
リスクコミュニケーションチーム会議		
現状の感染状況と対策についての意見交換等		
チームメンバー、福祉保健局関係課長等		
なし		
●現状の感染状況と対策について ・ワクチン接種については、接種を迷っている人に向けて何かメッセージを出していった方が生産的。意思決定支援としての取組を行うとよい。 ・国よりも自治体の方が小回りも効くし、対象にリーチしやすい。都は、若い人の背中を押すために、インセンティブの出し方も含めて検討するとよい。 ・いまのコロナ対策に対して、データに基づいていないのではという批判がある。国内や東京都のデータのみに拘らず、他国のエビデンスや指標、対策ももっと取り入れたほうがよい。 ・どの程度のエビデンスがあったら行動抑制するのかという話を真剣にやらなければいけない。まだ少しエビデンスが不足しているが、感染拡大防止に効果的と思われることがらについては、留保をつけながらも発信していった方がよい。 ・若者向けに YouTube や SNS を活用し理解を得ていくことは、簡単ではない。・人は、なによりも周りを見ている。本人だけでなく、周りにアプローチすることを一緒に行うとよい。 ・意思決定の中に当事者が入る機会が少ない。若者対策は、その当事者である若い人たちの話をきちんと聞いて対応していくことが大事。 ・ワクチン接種動向についての都民意識調査を7月中旬までには実施した方がよい。設間案を作成し、事務局に送付する。		
計画課 上條	確 認 者	東京感染症対策センター担当 課長 石田
	リスクコミュニケーションチーム 現状の感染状況と対策についての チームメンバー、福祉保健局関なし ●現状の感染状況と対策について ・ワクチン接種については、接種いった方が生産的。意が上では、定回シテンスが生産のよりも自治めに、インサーンでであります。 ・国よりも自治めに、があったでは、の程度のエビデンスがあったがあったほうがよい。 ・どの程度のエビデンスがあったがい。 ・どの程度のエビデンスがあったがいることがらについては、SNS ・大は、なによりも周りを見ているによりも同いでであるは、なによりも同いであるは、なによりものからに当事者がしていた。 ・意思たのチン接種動向についての者い。設問案を作成し、事務局に送	リスクコミュニケーションチーム会議 現状の感染状況と対策についての意見交換 等 チームメンバー、福祉保健局関係課長等 なし ●現状の感染状況と対策について ・ワクチン接種については、接種を迷っている人 いった方が生産的。意思決定支援としての取組を ・国よりも自治体の方が小回りも効くし、対象に 背中を押すために、インセンティブの出し方も含 ・いまのコロナ対策に対して、データに基づいて 国内や東京都のデータのみに拘らず、他国のエビ 入れたほうがよい。 ・どの程度のエビデンスがあったら行動抑制する ばいけない。まだ少しエビデンスが不足している れることがらについては、留保をつけながらも発 ・若者向けに YouTube や SNS を活用し理解を得 ・人は、なによりも周りを見ている。本人だけでを一緒に行うとよい。 ・意思決定の中に当事者が入る機会が少ない。若 人たちの話をきちんと聞いて対応していくことが ・ワクチン接種動向についての都民意識調査を い。設問案を作成し、事務局に送付する。